

学習指導案

日付	○年○月○日 () ○限			
科目	情報処理	指導者名	○○ ○○	
使用教科書	情報処理 (東京法令出版)	使用教材	ワークシート・問題集	
指導学年	2年生 (○○コース)	使用教室	○○実習室	
単元名	第3章 情報の集計と分析 第3節 情報の分析 1-6 関数を用いた情報の分析 一覧表から目的のデータを集計しよう			
単元の目標	(1) 統計的なデータ分析方法を理解し、分析結果に基づく改善策を提案しようと積極的に取り組む。 (2) 関数や表やグラフを活用して、データの検索・集計・表現する方法を身に付ける。			
時間配当	12時間	本時の位置	8時間目	
本時の主題		データベース関数 (DSUM・DAVERAGE・FORECASTなど) とグラフ作成機能を活用し、スイーツ専門店3店舗の売上データを分析後、店舗ごとの特徴を把握し改善策を提案しよう		
本時の目標		データをグラフで表し、数値の変化や傾向を視覚的に捉えながら根拠に基づいて自分の考えを説明しよう		
段階	時間	指導内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・観点別評価
導入	5分	売上データ提示 現状把握、仮説	<ul style="list-style-type: none"> 3店舗の売上推移データからどの店舗が伸びているかを考える。 発問：「どの店舗が伸びていると思いますか？」	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜそう思うのか」と問い、根拠に基づき説明することを意識させる。
展開	40分	①個人作業 ②ペアワーク ③条件付き分析 ④翌月の売上予測 ⑤全体共有	<ul style="list-style-type: none"> 売上データをもとにグラフを作成する。 店舗ごとの傾向を理解する。 作成したグラフを比較し、違いや共通点を話し合う。 関数 (DSUM・DAVERAGE) を使って条件付き集計を行い、商品別・月別の売上を棒グラフ・円グラフで作成する。 関数 (FORECAST) で翌月の売上を予測し、グラフに追加する。 「どの店舗を重点的に伸ばすべきか。その根拠は何か？」について発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフ作成の手順を簡潔に示し、データを読み取る視点を理解させる。 多様な視点を認め、他者の視点を取り入れる姿勢を育てる。 グラフの構成意図を考えさせ、適切な活用を理解させる。 予測線を示し、未来の傾向を読み取る力を育成する。 根拠に基づき説明することを意識させる。 <p>【観点別評価】 適切な分析方法を選択し、分析結果に基づいて説明したり、表やグラフで分かりやすく表現することができる。(思考・判断・表現)</p>
まとめ	5分	本時のまとめ 次回の課題明示	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートの記入をする。 分析結果をもとに「どの店舗にどんな改善策を提案するか」を考え、発表することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学びを振り返り、自己評価をさせる。 データ分析をもとにした提案活動に向けて、意識を高める。